

県内で 2年連続 一番高い

# 国民健康保険税引き下げ！

- せめて1世帯・年2万円引き下げ
- 高校生以下の子どもへの「均等割」廃止

▽「国保税が高すぎる」と“悲鳴”があがっています。

石川県社会保障推進協議会の調査によると、夫婦（共に40歳以上）、子ども2人の4人世帯、個人事業者（夫の所得200万円、固定資産税5万円）の場合 <会社員の場合は年収311万円の世帯に相当>では、2016年度は七尾市が442,620円で、2015年度につづいて2年連続で県内トップです。所得の22%が国保税です。

▽赤ちゃんが生まれたら「均等割」（40歳以下は1人39,300円）が増額されます---収入がないのに「税金払え」という理不尽な仕組みになっています。

「滞納したくないけど  
払いきれない。メシ食う  
か税金払うか、選ばんら  
ん状況や」  
(60代・自営業の方)

## 財源はあります

- ▶ 国保会計には7億円の、自由に使える「基金」があります。
- ▶ 一般会計には50億円の、自由に使える「財政調整基金」があります。

これらの「基金」は、もともとは市民から集めた税金です。



みなさんと  
力あわせて  
なんとしても

実現に  
がんばります

いそがい和典は

## 2つの署名にご協力ください

一緒にお届けした署名用紙で周りの方の署名も、ぜひ集めていただいて、別添えの「返信用封筒」で郵便ポストに入れてください。

# 子どもの医療費

高卒まで  
(18歳)

# 窓口負担ゼロに！

県内で「窓口無料」に  
していないのは 七尾市と志賀町だけ

県内19市町のうち、14市町は窓口負担ゼロです。1市2町は「ワンコイン=500円」です。

高校卒業(18歳)まで医療費の窓口負担ゼロが石川県内の“標準”になっているときに、七尾市が、あくまでも「窓口で自己負担分を支払って、領収書を持って市役所窓口に出向いて『償還払い』の申請をする(後日通帳に振り込まれる)」やり方に固執するのは、子育て世代に冷たすぎます。

昨年11月から窓口無料になった羽咋市の40代女性の方---「これまで会社を半日休んで償還払いの手続きをしていたので、本当に助かります」

「子育てしやすい環境整備、生みたいと思える環境にしてほしい」(30代女性)

「(窓口無料化の)財源はある」に驚きました。市長が決断しないのか、させないのか...内部留保(基金)は何のためにある? (30代・女性)



日本共産党七尾市委員会の見解を紹介します

2017年9月号外 七尾市本府中町ヌ2 0767-53-5042

七尾民報